

「新刊紹介 11月号！」



「ビブリア古書堂の事件手帖」 三上 延



ある夫婦が営む古書店がある。鎌倉の片隅にひっそり佇む「ビブリア古書堂」。その店主は古本屋のイメージに合わない、きれいな女性だ。そしてその傍らには、女店主にそっくりな少女の姿があった。女店主は少女へ、静かに語りかける。一冊の古書から紐解かれる不思議な客人たちの話を。

「黒猫の小夜曲」 知念 実希人



黒毛艶やか猫として、死神クロは地上に降りた。街に漂う地縛霊らを救うのだ。記憶喪失の魂、遺した妻に寄り添う夫の魂、殺人犯を追いながら死んだ刑事の魂。クロは地縛霊となった彼らの生前の未練を解消すべく奮闘するが、数々の死の背景にとある製薬会社が影を落としていることに気づいて__。

「火焰の凶器」 知念 実希人



安倍清明と同時代に生きた平安時代の陰陽師・蘆屋炎蔵の墓を調査した大学准教授が、不審な死を遂げる。死因は焼死。火の気がないところで、いきなり身体が発火しての死亡だった。殺人。事故。呪い。さまざまな憶測が飛び交う中、天医会総合病院の女医・天久鷹央は真実を求め、調査を開始する。

「武士道ジェネレーション」 誉田 哲也



あれから六年、大学を卒業した早苗は結婚。就職が決まらぬ香織は、道場での指導の日々を送っていたが、玄明先生が倒れ、道場に後継者問題が…。

「僕の未来だった君へ」 鳥海 嶺



周囲とうまくいかず、息苦しい思いを抱えて生きている直樹は、桜並木の下で「私、雪女なんです」と名乗る不思議な少女、雪と出会う。次第に彼女に心を開いていく。ところが、冬の訪れとともに、雪は彼の前から姿を消してしまう…。忘れていた大切なものをそっと揺り動かす、ほんのりラブストーリー。

「わたし、定時で帰ります。」 朱野 帰子



絶対に残業しないと決めている会社員の結衣。個性豊かな同僚たちに揉まれながら働く彼女の前に、無茶な仕事を振って部下を潰すというブラック上司が現れて一。新時代を告げるお仕事小説、ここに誕生！

